

埼玉県立がんセンター中央監視業務特記仕様書

1 業務の場所

ア 埼玉県立がんセンターの建物及び構内（臨床腫瘍研究所含む）

所在地：埼玉県北足立郡伊奈町小室 7 8 0 番地ほか

イ 医師公舎・第 1 職員公舎・第 2 職員公舎・第 3 職員公舎・保育園の建物及び構内

所在地：埼玉県北足立郡伊奈町小室 8 1 8 番地ほか

2 業務の目的

埼玉県立がんセンターの安全で快適な環境を確保し、業務の円滑な運営を図るため、中央監視室に常駐し、電気設備・空調設備・給排水衛生設備及び建築物の運転・監視・点検・調整・クレーム処理・小修繕等を行う。

3 施設及び設備の概要

①主要な建物の構造及び延床面積は次のとおり

病院棟

R C 造（一部 S R C 造、免震構造） 地上 1 1 階地下 1 階 PH 1 階

建築面積：13,888 m² 延床面積：61,130 m²

付属建屋 1（非常用発電機室、R I 排水処理室他）

R C 造 平屋 延床面積 519 m²

付属建屋 2（オイルポンプ室）

R C 造 平屋 延床面積 9 m²

付属建屋 3（特高変電室）

R C 造 平屋 延床面積 136 m²

研究棟

S R C 造 地上 7 階地下 1 階 延床面積 6885.48 m²

付属建屋 1（自家発電機室）

S 造 平屋 延床面積 82.24 m²

付属建屋 2（ゴミ置場）

R C 造 平屋 延床面積 7.5 m²

医師・第 1 職員公舎

R C 造 地上 5 階（103 戸）延床面積 6,556 m²

第 2 職員公舎

R C 造 地上 3 階（30 戸）延床面積 890 m²

第 3 職員公舎

R C 造 地上 4 階（40 戸）延床面積 1,261 m²

保育園

木造 平屋 延床面積 299.69 m²

②設備の概要は別表 1－1 のとおり

4 業務の内容

通常業務

(1) 運転監視業務

ア、中央監視業務

別表 1－1 に掲げる設備全般の運転・操作及び監視業務

イ、日常点検業

別表 1－2・1－3・1－4 及び埼玉県立がんセンター自家用電気工作物保安
規程に基づく点検・記録及び異常時の原因調査

(2) 保守業務

ア、別表 1－2・1－3・1－4 に基づいた保守点検、小修繕

イ、別表 1－5 に基づくクレーム処理業務

特別業務

(1) 電気設備精密検査業務（別表 2－1）

(2) 第 1 種圧力容器性能検査及び清掃整備業務（別表 2－2）

(3) 受水槽、雑用水槽の清掃業務及び水質検査（別表 2－3）

(4) 汚水槽、雑排水槽の清掃業務（別表 2－4）

(5) 冷却塔のレジオネラ菌検査業務（別表 2－5）

(6) 空気環境測定業務（別表 2－6）

(7) 灯油地下タンク気密試験業務（別表 2－7）

(8) 飲料水水質検査業務（別表 2－8）

(9) 建築設備定期点検業務（別表 2－9）

(10) ホルムアルデヒドほか作業環境測定業務（別表 2－10）

(11) 煤煙測定業務（別表 2－11）

(12) 非常用発電機点検整備業務（別表 2－12）

(13) フロン排出抑制法に基づく点検業務（別表 2－13）

(14) 井水ろ過装置保守点検業務（別表 2－14）

5 業務の体制

業務員は、交替制により日曜祭日に関係なく、24 時間体制で別表 1－1 の設備等の管理業務に必要な資格を有する業務員を適正に配置しなければならない。安全管理上、休憩中の者を含め、下記の表のとおり配置すること。

業務員の人数が不足する場合は、事前に監督員の承認を受けるものとする。

時 間 区 分		人 数	業 務 内 容
平日	8:30～17:15	7 名以上	保守・運転監視業務
	17:15～翌 8:30	3 名以上	運転監視業務、緊急時の保守を含む。
休日	0:00～翌 0:00	3 名以上	運転監視業務、緊急時の保守を含む。

※休日：日曜、土曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日

6 業務員の資格

業務員は、次のいずれかの資格及び経験を有するとともに、当センターの設備に対応できる者でなければならない。又(2)(3)(4)(6)(7)については本業務の対象施設に対してその職務に選任されるものとする。

業務員はがんセンター専任とし、病院での実務経験 1 年以上または実務経験 3 年以上の業務員を配置すること。

- (1) 電気工事士（第二種以上）又は電気主任技術者（第三種以上）
- (2) ボイラー技士（二級以上 作業主任者は一級以上）
- (3) 危険物取扱者（甲種又は乙種第 4 類）
- (4) 冷凍機械責任者（第 3 種以上）
- (5) 特定高圧ガス取扱主任者
- (6) 公害防止主任者（大気関係、水質関係）
- (7) 第一種圧力容器取扱作業主任者
- (8) 消防設備点検資格者
- (9) 建築物環境衛生技術を有する者
- (10) 空気調和機運転管理の技能を有する者
- (11) 給排水関係作業の技能を有する者
- (12) その他機械設備の運転管理の技能を有する者
- (13) 配管技能を有する者

7 守秘義務

業務員は、職務上知り得た秘密については、他に漏らしてはならない。

8 実施計画及び実施報告

受注者は、業務に関する実施計画を策定したときは、書面（発注者の認めた様式）により発注者に通知し、業務を実施したときは、書面（発注者の認めた様式）により発注者に状況を報告する。

9 臨機の措置

発注者は、業務を実施するうえで必要と認められる場合、受注者と協議のうえ、実施計画書の作業繰り上げ、順延等所要の措置を求めることができる。

10 日誌等

受注者は、発注者と協議のうえ定めた様式による点検表、日誌等を作成し、翌日監督員に提出する。

特別業務は、実施の都度報告書を作成し提出する。

11 従業員の管理

受注者は、業務に従事する従業員を指揮監督し、管理に万全を期すること。また、従業員に対し定期健康診断を実施し、結核の感染防止等、健康管理に努めること。

12 業務従事者名簿

受注者は業務に従事する職員の名簿（業務従事者名簿）に写真及び資格認定等の写しを添付し、監督員へ提出する。

また、従事者に変更があった場合も同様である。

13 負担区分

- (1) 業務履行のため使用する電気・ガス・水・電話等の使用料金及び小修繕・小工

事に使用する主たる材料は、発注者の負担とする。

- (2) 支給品は、蛍光管・電球・Vベルト・パッキン類・並塩とする。
- (3) 保守に必要な工具、計測機械等（設備機器に付属して設置されているものを除く。）、消耗品等は、受注者の負担とする。
- (4) ボイラー、ボイラー軟水装置、吸収式冷凍機、ターボ冷凍機、CGS 排ガスボイラー、井水処理設備、その他の薬剤は、受注者の負担とする。

設 備	種 類	参考年間使用量(令和 6 年度実績)
ボイラー	清缶剤	1,000 k g
	腹水処理剤	370 k g
ボイラー軟水装置	硬度測定薬品(カートリッジ試薬)	4 セット
	硬度測定薬品(硬度指示薬)	2 セット
吸収式冷凍機・ターボ冷凍機	冷却塔薬品	2,640kg
CGS 排ガスボイラー	清缶剤	220kg
井水処理設備	次亜塩素酸ナトリウム	400kg (令和 5 年度実績)
	ポリ塩化アルミニウム	1,200kg (令和 5 年度実績)

14 業務手順書の作成等

受注者は機器取扱、保守点検、その他業務を行う上で必要な業務手順書を作成する。
また、機器の近くに取扱方法等の掲示を行い、作業の標準化を行えるようにする。
作成した業務手順書は、適宜発注者に提出する。

15 契約満了時の引継

契約満了時以前に現受託者は次期受託者に対し 1 ヶ月以上の引継期間をかけて、全ての業務について研修すること。次期受託者はこの研修を真摯に受けること。

16 その他

- (1) 受注者は、監視室・仮眠室・電気室・機械室、パイプシャフト等の清掃を定期的に行い、常に整理整頓に努めること。
- (2) 業務履行上、専門業者に再委託をしなければならない業務があるときは、監督員に書面で通知し、承認を得なければならない。
- (3) 業務に使用する薬品、消耗品、材料等は、良質で適正なものを用いること。
- (4) 業務対象が特記仕様書等で示すものと異なるなどした場合は、作業内容等を監督員と協議する。